

美術科 学習の手引き

1 学習する内容について

美術で学習する内容には、「 絵画・デザイン・工芸 」と三つの分野があり、各自で制作を通して表現します。また、「 鑑賞 」では、いろいろな作品を見て学ぶ分野となります。

絵や作品には、その人が何を感じ、何を考えているかが表われています。美術制作を通して、心で感じる喜びや楽しさを育てます。

2 学校での授業の受け方

- ① 準備物の確認をし、全てに名前を書きましょう。
 - ・ デザインセット（ポスターカラー・筆・パレット・水入れ・30センチのさし・ぞうきん）
 - ・ 2B, B, HBの鉛筆
 - ・ スケッチブック
- ② 授業開始までに教室に入り、5分前には準備を完了して席に着くことを、心がけましょう。
- ③ 授業の始めと、終りの挨拶は、大きな声でしましょう。
- ④ 終りの号令の後、作業でできたゴミや紙くず、消しゴムのかすは、各自でゴミ箱に捨て、机と椅子を並べて退出しましょう。
- ⑤ 授業終了後、美術係は、次週の準備物について聞きに来て、クラスみんなに連絡をしてください。

3 家庭学習の仕方

- ① 美術館や博物館などに行き、多くの美術作品に出会ってみましょう。
- ② 新聞・テレビの美術番組から、今の旬の情報を仕入れてみましょう。
- ③ ファッション、テレビコマーシャル、街角のポスターからも情報を仕入れてみましょう。
- ④ 感動を形にできるよう、普段から心がけておきましょう。
- ⑤ 通学中の景色や空の色、風のおいなど、身近な場所にも感動はあります。見つけてみましょう。
- ⑥ オンライン美術館 | HASARD (wam-hasard.com)
URL : <https://wam-hasard.com/?msclkid=e40e7dd9cfed11ecb4a72a3b79612cf9>
検索方法…「オンライン ミュージアム 美術館」で検索

4 評価について

完成作品のみの評価でなく、完成までの過程を大切にします。
また、技術面だけでなく、授業態度も評価します。

5 最後に

完成までの途中経過では、発想・アイデア・表現方法について工夫する対話を大切に、できるだけ、想いを形にできるような時間を十分とりたいと思っています。そして、全員の完成を目指して、みんなで学習に取り組みましょう。